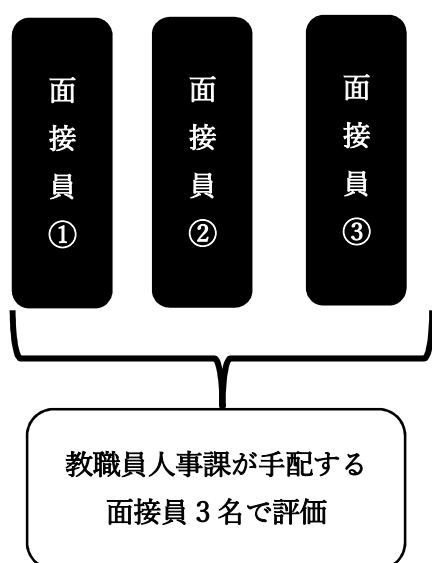


令和4年度教員採3次面接テストにおける試験の追加実施について

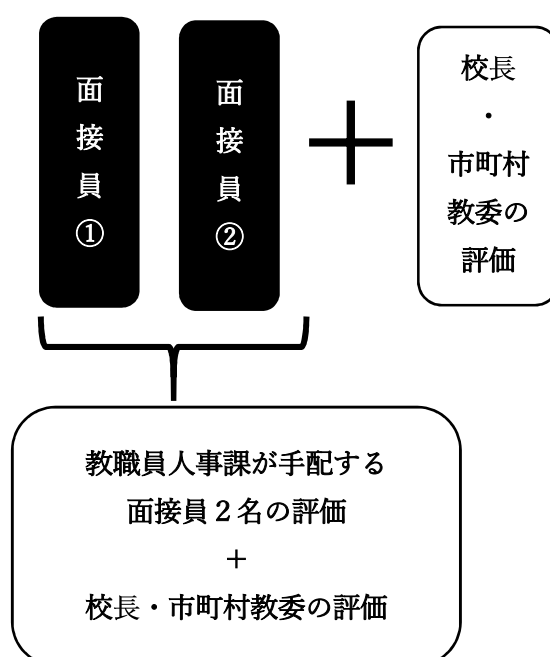
1 事案の概要

令和3年9月15日（水）に実施した標記テストにおいて、本来であれば1人の受験者に対して面接員3名による面接評価がなされるところ、一部の受験者（7人）に対しては、面接員数が1名不足した状態（面接員2名）で、面接テストを実施した。

《受験者による評価希望なしの場合の評価》



《受験者による評価希望ありの場合の評価》



2 対象となった受験者（7名）の出願校種・教科・選考区分等

【出願校種・教科】 高等学校・英語

【選考区分等】

- ・ 一般選考 英語資格所有者加点（5名）
- ・ 一般選考 社会人経験者加点（1名）
- ・ 現職教諭対象（1名）

（参考）R3教採 高等学校・英語 倍率等

出願者数 258名、受験者数 220名、合格者数 40名、倍率 5.5倍

※ R4教採出願者数 262名

3 判明の経緯

令和3年9月15日(水)に実施した面接テスト(受験者5名/1クール)終了後、評定を試験係員が検収を行う際、校長・市町村教委評価希望なしの受験者の評定が、2名の面接員による評定の記載しかなかったため、事実確認したところ、一部の受験者(7人)に対しては、誤って、面接員数が1名不足した状態(面接員2名)で、面接テストを実施してしまっていたことが判明した。

4 誤りの原因

校長・市町村教委評価を希望していない受験者の面接室において、誤って、面接員が2名しか配置されていなかったにも関わらず、確認不足により、当該誤りに気づかなかったため。

5 対応

誤って、面接員が2名しか配置されていなかった該当の受験者(7人)に対しては、選考実施上の不手際を、直接謝罪をするとともに、経過及び事後対応について説明。

該当の受験者(7人)全員の理解、了承を得たうえで、受験者が希望する日時に、面接員を1名追加し、面接テストを実施予定。(令和3年9月18日(土)及び19日(日))

6 再発防止策

標記テストの運営体制にかかる手続き(面接員の配置にかかる手続き)を見直し、担当職員間の情報共有、確認等を徹底し、再発防止に努める。

(参考) 校長・市町村教育委員会評価について

教職経験者(常勤講師経験者・実習教員・寄宿舎指導員)について、出願者の申請に基づき、府立学校校長・准校長又は市町村教育委員会の評価を、第3次選考の面接テストの評価に反映する。